

IDEXX 夜間集荷サービス

検体梱包、および検体引き渡し手順書

- 1 アイデックス用容器に患者名、検体種類(ヘパリン、EDTA、クエン酸血漿など)を記入したシールを貼ってください。
- 2 各1次容器に検体を入れ、蓋をしっかりと閉め、漏れ出ないようにします。チャック付き小袋に1次容器を入れ、写真1の要領で袋の口を閉じてください。
※検体以外のもの(保冷材・緩衝材・タオル・ペーパーなど)は入れないでください。

写真1



一般検体

写真1



病理検体は二重包装

病理検体の二重包装



写真1



細胞診

- 3 記入済みの依頼書と検体を、チャック付き大袋に入れ(写真2)、袋の口を閉じてください(写真3)。依頼書毎に1枚のチャック付き大袋をご準備ください。(チャック付き大袋に入りきらないサイズの病理検体の場合、別途透明のチャック付き袋をご用意ください。)

※病理検体の参考資料として細胞診検体も同時に提出される際は、病理検体用とは別のチャック付き袋で細胞診検体をご準備ください。その上で、依頼書と併せてもう一つ別のチャック袋にまとめて入れてください。(写真4)

※複数依頼書で1本の検体を併用される場合は、その患者様の検体と対応する複数の依頼書を、1つのチャック付き大袋にまとめて入れてください。(写真5 例:総合検査依頼書と健康診断依頼書など)

写真2



写真3



一般検体

写真4



病理検体と細胞診検体
同時提出の場合

写真5



- 4 チャック付き大袋をアイデックス専用の集荷ボックスに入れ(写真6)、19:00前に施錠してください(写真7)。

写真6



写真7



その他注意事項

1. 依頼書の控えはご施設にて保管ください。
2. チャック付き大袋への梱包は、依頼書毎に1袋です。
3. 病理検体はチャック付き袋への直入れはせずに、広口プラスチック容器を使用し、パラフィルムなどで密閉してください。
※病理検体送付用チャック付き袋を使用する場合は、2重に熱シーリングしてください。

検体梱包方法のご案内動画をご覧ください。

ぜひ一度ご確認ください。 →[クリック](#)